

令和3年度第1回福祉サービス運営委員会が、11月19日（金）14:00より本部会議室において、委員12名全員出席のもと開催された。有松理事長の挨拶、仲元研二委員長の挨拶後、事務局および各施設の現状と苦情や要望等の状況を報告・協議が行われた。

## 1 本部事務局

- ① 重点的取組、法人の現状について説明
  - ・新たなニーズに応じていくため、法人のリブランディングに取り組んでいる。
  - 法人ホームページ内の求人サイトをリニューアルで、求職者増や社内報の創刊で職場内の活性化に繋がっている。
  - ・法人全体で、コロナウイルス感染予防対策に努め、利用児者及び職員に感染者は出ていない。
  - ・各種研修の充実を図るとともに、リカレント教育制度を調査検討中である。
  - ・勤怠管理及びシフト作成ソフトの導入で、業務省力化が促進されてきた。
- ② 苦情及びヒヤリハット・事故報告～なし
- ③ その他
  - ・職員の不祥事～懲戒処分を行う

## 2 別府厚生館

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
  - ・定員 16 世帯（暫定 12 世帯）、8 世帯 29 名が入所
  - ・母子を分離しない支援、再統合や再構築する支援、住環境の改善に取り組む。
- ② 苦情等について
  - ・意見箱への投書（1 件）  
町内会での消毒作業を念入りをお願いしたい。
  - ・口頭によるもの  
利用者より～隣室のドアの開閉音がうるさい。  
近隣より～境界を越えた樹木の枝切をしてほしい。  
園庭作業の際は、砂埃が立たないようにしてほしい。
- ③ ヒヤリハット、事故報告
  - ・年度当初の配布書類に記載ミス。
  - ・園舎の施錠忘れ。
  - ・2 歳児が階段から転落
  - ・園庭にスズメ蜂の巣（業者による駆除を行う）
- ④ その他
  - ・利用者左中耳真珠腫手術で 15 日間入院

## 3 うえの園・清明あけぼの学園

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
  - ・うえの園 施設入所支援：18 名（定員 20 名） 生活介護：27 名うち通所利用 7 名（定員 20 名）
  - ・日中一時支援・短期入所定員 2 名 感染症対策の為一時的に受け入れを中止、緊急時は要相談
  - ・相談支援事業所：特定相談支援～計画作成並びにモニタリング数 155 件、  
障害児相談支援～計画作成並びにモニタリング数 292 件
  - ・清明あけぼの学園 施設入所 10 名（定員 10 名）  
日中一時支援、短期入所 定員 2 名 感染症対策の为一時的に受入れ中止、緊急時は要相談
- ② 苦情・要望
  - ・意見箱  
新年度へ向けて担当や外出等の要望（担当部署と情報共有）
  - ・電話  
相談支援事業所公用車のご利用者宅訪問中の駐車の苦情
- ③ ヒヤリハット（うえの園 3 件、清明あけぼの学園 1 件）
  - ・利用者単独異動 3 F から 1 F へ ・消毒液補充間違い ・公用車のドア開閉で隣接公用車に接触
  - ・蜂の巣駆除
- ④ 事故報告（うえの園 9 件、清明あけぼの学園 7 件）
  - ・喉に食べ物を詰まらせる・他害（同室の兄弟で噛みつき） ・服薬（薬渡し忘れ、薬を落とす）
  - ・公用車による物損事故（2 件）
  - ・その他  
（うえの園）転倒、ヘアドライヤーのショートで火花、器物破損  
（清明あけぼの学園）男児性的不適切行為、食事に異物混入、打撲

- ④ その他
  - ・入院～（3名）腸閉塞疑い、嚥下状態低下・脱水状態・肺炎、扁桃腺炎による発熱

#### 4 森の木

- ① 重点的取組と現状について説明
  - ・本体施設 30名 地域小規模 11名
  - ・被虐待児童入所率（70.7%）発達障害（56.1%）ひとり親家庭（65.9%）
  - ・子育て支援事業（ショートステイ等 21） 一時保護 1,264日 ゆずりは相談等 2,674件
- ② 苦情等
  - ・聴き耳頭巾意見箱への投書（8件）
    - ・ユニット子ども間のトラブルに対する不満
    - ・新規入所の子どものための施設への適応状況や不安な気持ちの訴え（ストレスケア面談）
    - ・同ユニットの上級生からの強い口調での叱責
- ③ 事故報告
  - ・公用車による接触事故（2件）
  - ・食べ物を喉に詰まらせる
  - ・新体操の真似をしてクッション上から転落し、頭を痛打
- ④ その他
  - ・新型コロナウイルス感染症予防のため外出等の制限が続く、児童のストレス緩和のための聴き耳相談員による面接を実施
- ⑤ コンプライアンス委員会の設置と倫理研修の実施

#### 5 滝尾保育園

- ① 重点的取組・現状について説明
  - ・保育環境を充実させることで保育の質の向上を図っている。
  - ・園児数 213名（定員 170名） ・児童クラブ登録数 79名
- ② 苦情・要望等
  - （投書）職員の対応悪く不信感がある。もう少し親身になってほしい。
  - （電話）・運動会練習の音に対し、「するな」とは言わないが考えてほしい。
  - ・園庭からのほこりが洗濯物や車に。水をまくなど対応してほしい。
- ③ ヒヤリハット報告、事故報告書及び経過観察記録書により職員の安全意識を高めている。
- ④ 事故報告
  - ・児童クラブ 1件
  - ・4歳児左肘脱臼、3歳児魚の小骨が歯茎に刺さる。
  - ・給食の牛乳が1ヶ月以上の賞味期限切れ。（納入業者を変更）
- ⑤ その他
  - ・感染症～アデノウイルス（35）RSウイルス（139）手足口病（40）ヘンパングーナ（11）頭ジラミ（14）食物アレルギーによる除去食対応児（8）コロナウイルス PCR検査（保育園児 5、児童クラブ児童 7）いずれも陰性
  - ・災害時における保育所・放課後児童クラブの臨時休園（閉所）に関する基準について（警戒避難レベル 3で保護者の迎え）

#### 6 明野しいのみ保育園

- ① 重点的取組・現状について説明
  - ・子どもの発達を考え、玩具や素材を更新し主体的に遊ぶ保育を進めている。保育のICT化を行い業務の軽減に取り組んでいる。
  - ・青少年赤十字に加盟し、地域美化に取り組んでいる。
  - ・園児数 151名（定員 152名）
- ② 要望及び苦情
  - ・保護者より、降園時子どもが道路に飛び出したり暴れたりして危ない家庭がある。送迎の車も通るので注意してほしい。
  - ・運動会の保護者参加の仕方について県外からの参加自粛をお願いしたところ、「県外差別である、納得がいかない。」と意見あり。
  - ・HPに内科健診を受けるパンツのみ着用の子どもの写真を掲載。法人本部に不適切との電話あり。
- ③ ヒヤリハット及び事故報告
  - ヒヤリハット 59件（毎月のリスク委員会で集計、職員に周知）
  - ・公園から道路に向かって石を投げた。・給食で親子焼きにクッキングシートが付いたまま提供したものがあつた。・トイレに行くと言って部屋を出たがデッキに出ていた。カラス、ムカデ、ハチ等

○事故報告（園児の怪我）

- ・4歳男児）公園の側溝が落ち葉で隠れていて気付かず足を取られ転倒し頭部をぶつけ出血。病院受診。
- ・4歳女児）保育室で転倒し柵で口をぶつけ出血。口内に傷口が見られたため歯科受診。
- ・3歳女児）保育室で友達と手を繋いでいて右肘脱臼。

④ 病気・感染症等の状況

- ・手足口病の流行があり掲示等で流行状況をお知らせし、消毒作業を増やした。

**協議**

○ 利用者家族から

- ・階段からの転落したケースは、手すりを持つ習慣はないのか。階段の昇り降りの際は、手すりを持つ習慣を
- ・利用者の介護施設への移行手続きはどのように行われたか（胃ろうの手術を行い、介護施設移行の手続きを進めた）
- ・一方通行を守らない保護者の車も見受けられるので、掲示物の場所を移動する等の対応を考えてほしい。
- ・出入口のシャッターが固く、開けっ放しの状態になっていることがあるので事故防止の対応が必要ではないか
- ・運動会の参観者人数制限は、子どもも保護者もよかったと感じた。

○ 第3者委員から

- ・町内会行事に、今後も子どもたちの参加をお願いしたい。
- ・スピーチロックとは。（虐待防止の取組で、言葉で行動を制限することを意味することを説明する。）
- ・ハラスメント事件に対する委員会の設置は、本部ではなく施設なのか。（施設の特性を考え行っている。）  
事件が起きたのが職員の資質に問題はなかったのか（今回のケースについては、普段の勤務態度等に気になるところはなく、やろうと思えばできる環境が引き起こしたと考えている）

○ 岡村委員より総評

- ・今回の職員の不祥事は、犯罪である。このような犯罪を防ぐ対応としては、①死角をつくらない（理性が働くような環境をつくる。）②職場で相互抑制が働く環境をつくる（モチベーションと緊張感が高い職場環境）
- ・一般的なハラスメントについては、何が許されて、何が許されないのかの線引きがはっきりとする研修を行う。（事例に即した研修が有効）
- ・本部、各施設とも事業計画ができて目標設定が明確になっている。やるべきことの意識づけが高まっていると感じる。これが職場のモチベーションが高まり、サービスの向上に繋がっていく。

**その他**

第2回目の委員会は、令和4年3月を予定していることを、お知らせし、閉会した。